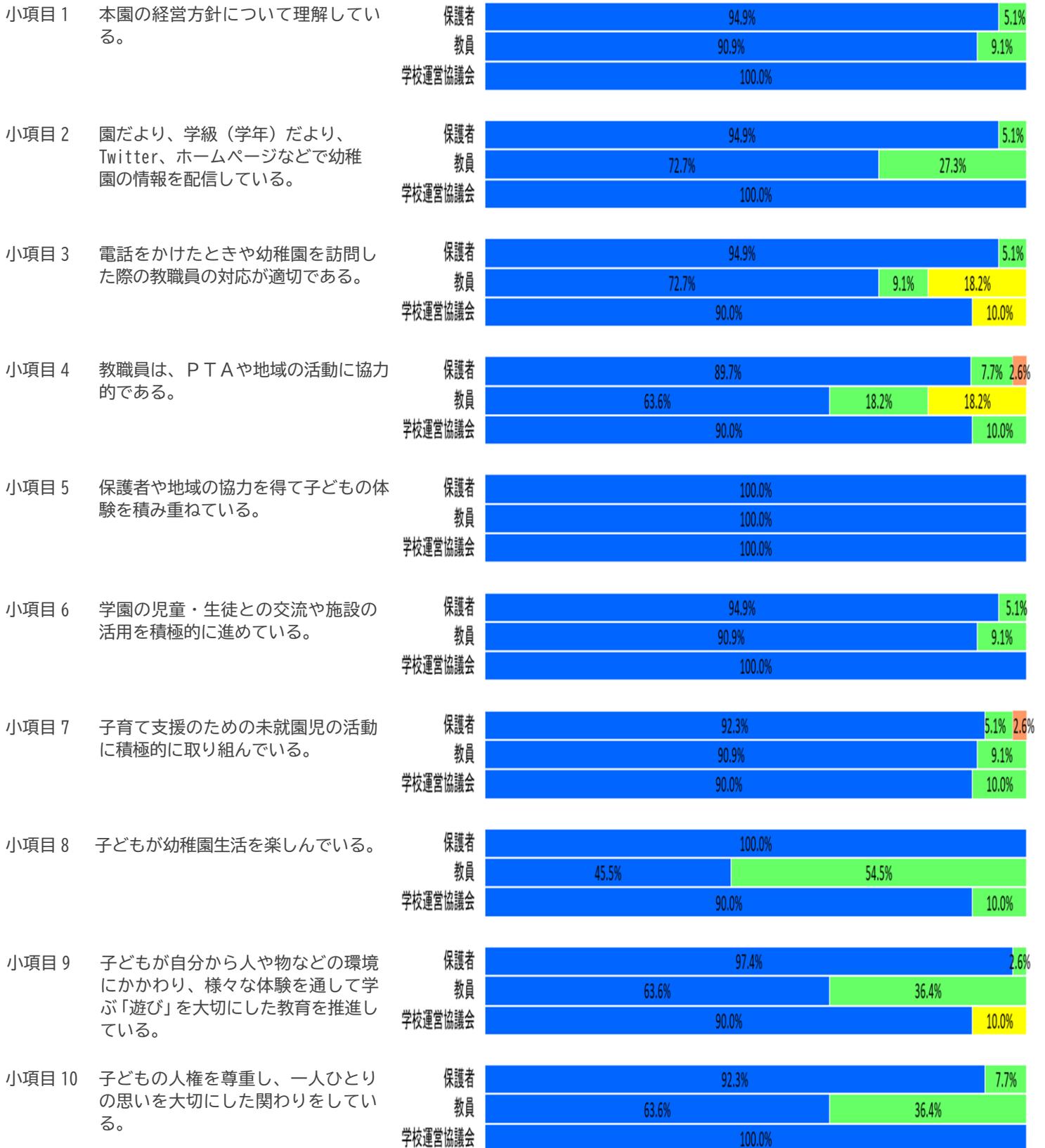


令和4年度 学校評価



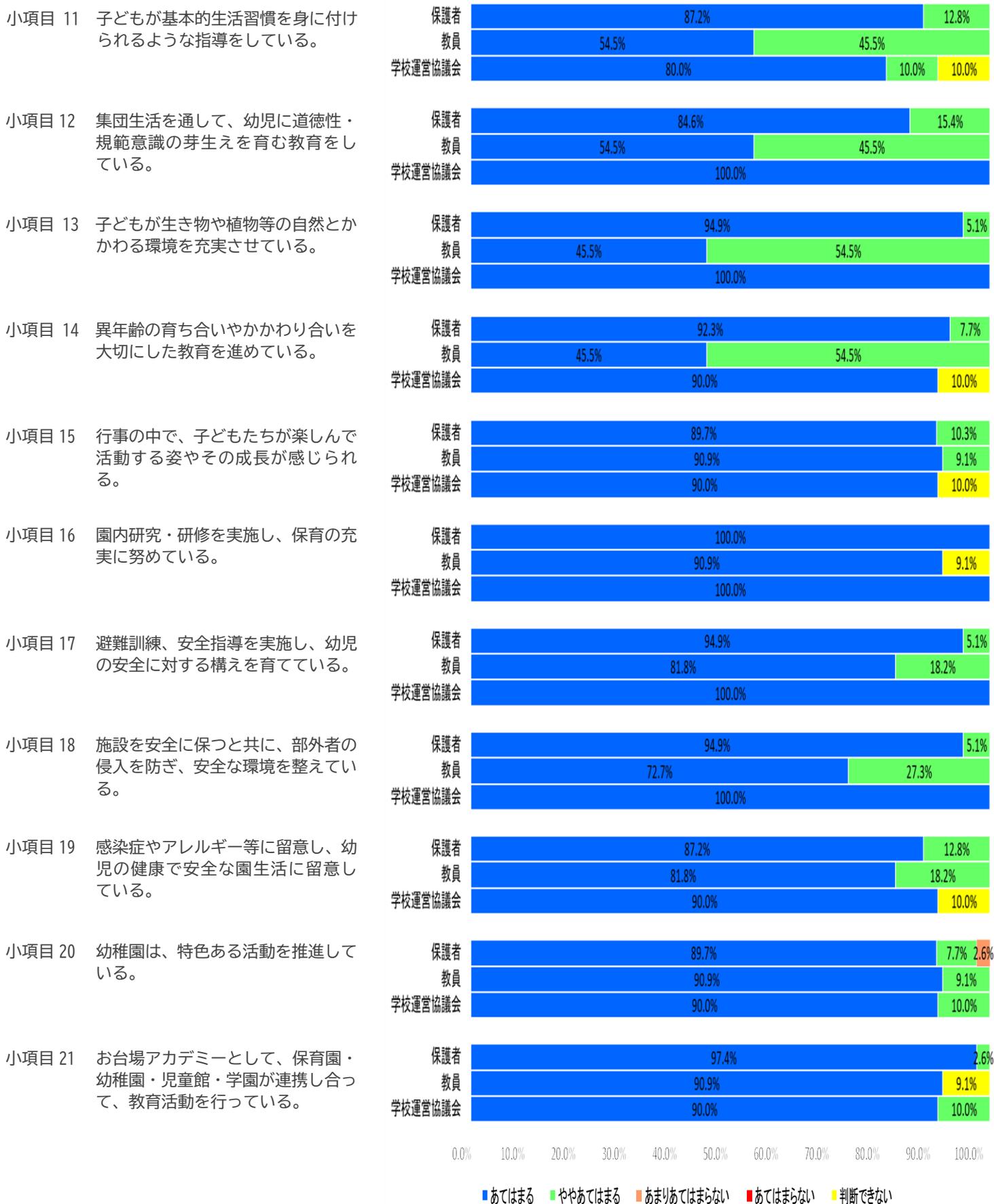
港区立にじのはし幼稚園

令和4年度 港区立にじのはし幼稚園 幼稚園アンケート結果



0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

■あてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない ■判断できない





令和4年度 学校評価

港区立にじのはし幼稚園
園長 石川典子

昨年12月に実施しました「幼稚園アンケート」へのご協力、ありがとうございました。

アンケート結果を受け、保護者・教員・学校運営協議会委員、3者の評価の比較、昨年度との比較、自由記述でいただいたご意見から分析・考察を行ったものを自己評価とし学校運営協議会に提出しました。委員の皆様には学校関係者評価をしていただき、本学校評価をまとめました。

<全体の状況>

- ◇保護者のアンケートの回収率は100%でした。21項目中、18項目は、A・B評価合わせて100%、残りの3項目については、A・B評価合わせて97.4%(C評価が各1名)、全項目においてD・E評価はありませんでした。
(*A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない E:判別できない)
- ◇「5 保護者や地域の協力を得て子どもの体験を積み重ねている」、「8 子どもは幼稚園生活を楽しんでいる」、「16 園内研究・研修を実施し、保育の充実に努めている」において、保護者全員からA評価をいただきました。
- ◇自由意見では、園の教育方針や教育内容、お台場地域全体との連携やwithコロナ期の行事の在り方について肯定的なご意見をいただきました。また、園児数減少に伴い、PTA活動の負担軽減、園児獲得に向けた方策についてご意見をいただきました。
- ◇教職員の評価を全体的に見ると、特に、教育内容・指導の項目においては、A評価よりもB評価の割合が多く、保育の質の向上に向けて課題や改善の余地を感じていることが読み取れました。
- ◇学校運営協議会による学校関係者評価では、「(保護者よりも教職員の評価が低いことから)向上心は大切だが先生方はもっと自信をもってよい。」、「保護者のニーズに耳を傾けることは大切だが、全てに応えようとしなくてよいのではないか。公立幼稚園の教育は、大人のための保育サービスではなく、学校教育であることを保護者に伝え理解してもらう必要がある。」などのご意見をいただきました。

<主な項目についての分析・考察、改善策等>

○小項目4 教職員はPTA活動に協力的である。(保護者C評価1名)

園児数の減少に伴い、PTA活動を運営していく上で負担が生じないように、現PTA役員と連携し、係や活動内容・方法を見直し、改善を図っています。子どもたちだけでなく、保護者の方にも幼稚園生活を楽しんでほしいというのが園の願いです。子どもたちの活動のためにお力を貸していただくことがあります。保護者の皆様が無理なく、楽しい雰囲気の中でPTA活動に取り組んでいただけるように、園としても柔軟に協力していきたいと考えています。何かありましたら遠慮なくお声掛けください。

○小項目5 保護者や地域の協力を得て子どもの体験を積み重ねている。

保護者・学校運営協議会・教員、3者とも、A評価100%の回答でした。地域・保護者・幼稚園が三位一体となり、子どもたちの活動を支える体制が整っていることが分かります。ご協力に感謝申し上げます。

○小項目7 子育て支援のための未就園児の活動に積極的に取り組んでいる。(保護者C評価1名)

自由意見では、未就園児の会の実施回数の少なさについてご意見をいただきました。未就園児の会のために、区より配当される職員の日数に限りがあるため、大幅に回数を増やすことはできませんが、来年度は、5月以降、園行事がない限り、毎週火曜日に開催します。(長期休業中は除きます。今年度は月2回程度の開催でした。)

また、にじっこ図書館は、引き続き、行事のない平日の午前中、未就園児親子を対象に絵本貸出を行います。入園希望につながるよう、地域の未就園児親子が来園できる機会を増やすとともに、幼稚園の職員や施設に親しみをもち安心して楽しく過ごせる場となるように取り組んで参ります。

○小項目8 子どもが幼稚園生活を楽しんでいる。

○小項目9 子どもが自分から人や物などの環境に関わり、様々な体験を通して学ぶ「遊び」を大切に教育を推進している。

この2項目については、指導の改善・保育の質の向上に向けて、教職員で協議を行いました。公立幼稚園の教育の中で、最も大切にしていることが、「遊び」からの学びです。子どもたちが主体的に人・もの・ことに関わり遊ぶ中にこそ学びがあり、資質・能力を育みます。幼児の発達や実態の理解に基づき、豊かな環境構成や活動内容の充実に向けて取り組んで参ります。研修・研究で学んだ内容を実践に活かすと共に、教職員間でカンファレンスを重ねながら保育をしていくことで幼児理解や援助の精度をあげ、保育の質の向上につなげます。

○小項目13 子どもが生き物や植物等の自然と関わる環境を充実させている。

夏野菜の結実が夏季休業中になってしまい、幼児の体験に生かすきれないことがありました。植える時期や夏休み中に収穫期を迎えてしまった場合の対応など、改善の余地があると考えます。また遊びに使える植物の栽培やビオトープの活用についても充実を図っていきたいと思います。

○小項目14 異年齢の育ち合いやかかわり合いを大切にした教育を進めている。

今年度より、3学年の保育室が横並びになり、日常的に異年齢で関わりやすい環境となりました。みんなのへやを5歳児が室内遊びの拠点とし、保育室と行き来しながら広く使えるようになったことや、5歳児の遊びが異年齢の幼児の目に触れやすくなったことは環境改善のメリットです。教職員間では、改めて2学期までの保育を振り返り、異年齢の関わりの意味、質について考えました。各学年の遊びが充実し魅力的でないと感じる遊びの中の自然な関わりは生まれません。遊びの充実を図るとともに、教職員間で連携を図り、幼児一人ひとりが思いをもち異年齢の友達と関わり合う関係性を育てていきたいと思っています。

○小項目20 幼稚園は特色のある活動を推進している。(保護者 C 評価1名)

イベントや課外活動など、家庭ではできないような特別な体験をさせてほしいというご意見をいただきました。本園では、特色のある活動として「お茶会」、「キッズヨガ」、「海博士のおはなし(お台場の海や生き物について学ぶ)」、「地引網体験」「おはなし会(絵本・パネルシアター・紙芝居などの読み聞かせ)」、「バイオリンのコンサート」、「タグラグビー」など、専門の講師を招き、文化・伝統・芸術・運動に触れる豊かな活動を通して感性を育むとともに、日常の遊びの充実につなげています。

華やかなイベントや習い事のような課外活動にも楽しさや学びがあると思いますが、本園では、公立幼稚園として、これからの予測不能な時代をしなやかに生き抜く人間性の基盤、資質・能力を育むという信念をもち、子どもたちが主体的に人・もの・ことに関わる「遊び」を中心に据えたカリキュラムマネジメントをしていきたいと思っています。

<次年度取組の骨子>

○幼児の主体性を引き出す環境や援助について、引き続き指導の改善に努めます。教員は、園内研究会や日常のカンファレンスから、幼児理解や自身の指導について省察し、指導の改善、保育の質の向上に努めます。幼児一人ひとりの資質能力を育む、よりよい教育環境の創造を目指します。

○PTA 会員数に応じた PTA 活動の在り方、取組の内容や方法等、改善に向けて PTA と連携します。

○幼児が季節の自然と出会い豊かな経験ができるよう、意図的・計画的に園庭の環境整備や、栽培活動を行います。

自由記述概要

以下は、「自由意見」として回答いただいた内容です。紙面の都合上、ご意見をまとめて記述している場合もあります。ご了承ください。(○…肯定的な意見、●課題)

上記小項目で触れていない課題、改善点については、「➡」に改善の方向性を示しています。前ページまでと併せてご覧ください。皆様からいただいたご意見・ご感想を参考に、教育活動等の改善・充実を図ってまいります。

【保護者】

<教育活動・教師の指導について>

- 園児一人ひとりの特性をよく把握して先生方が対応をしてくださっているのが親として大変有り難く、にじのはし幼稚園の良い点だと思う。(いつも全力で保育してくれている、行き渋りの激しかった子が「幼稚園大好き！」と言うようになったなど、同2件)
- 子どもたちがのびのびと園生活を楽しんでいる。(同1件)
- 引越しが多かったためいくつかの幼稚園を見る機会があった上で、ほぼベストの幼児教育をいただいていると感謝している。幼児教育についての高い理想に基づく計画と実践、検証、アップデートを日々遂行されていると拝察する。幼児に詰め込み教育をするのではなく、主体性を育てながら遊ばせることが幼児段階では非常に重要なこと、保護者も勉強させていただいた。
- 野菜くずを使った土作りや、野菜を育てて試食する等、とても貴重な経験をさせてもらっていると思う。(同1件)
- 園での色々な体験は家庭では出来ない事であり、それを友達と一緒に体験することで成長に繋がっている。
- 子どもたちが自分でやりたいことを考え、遊び学べる環境がつくられており、先生方のサポートが素晴らしい。
- 先生方が、子どもにとって新たな発見や考えにつながるような物やコトなどを積極的に提供して下さることや(例えば、おたまじゃくしなど)、子どもがやりたいように自由に工作できるところがよい。
- 型にはまらない製作活動がとても素敵だと思う。毎回製作物を見るのが楽しみ。大人が決めつけず、子どもの想像力を最大限に引き出してくれる環境、先生方の取り組みに感謝している。
- 幼稚園だけでなく、小学校・中学校・支援センターや在宅サービスセンターの方などいろいろな年齢の方との交流があるところ、お台場の地域全体で連携しているところがとても良い。(同3件)
- 園がビーチの目の前にあり、他の園よりも自然に触れられる機会がある。海でのゴミ拾いなどを通じて地域との関わりや住んでいる場所をキレイにする事・大切に思う気持ちも育ていけると思う。(同1件)
- お台場商業施設や児童関連との交流があるとよい。例えばフジテレビや湾岸警察 ホテルなど見学会や湾岸警察のお仕事など行ってみて体験してみても子どもの体験を発表するみたいに幼稚園と地域を繋げてあげられたら面白いと思う。新たなイベントとしてツイッターで発信する事で幼稚園の楽しさが広がる。
- ➡お台場には様々な商業施設があり、自然環境も含め豊かな教育資源に恵まれています。子どもたちにとって、与えられる活動ではなく、例えば、ごっこ遊びが発展していく中で「お店の人はどうやっているの?」「機械の仕組みがどうなっているのか知りたい」など、幼児の興味関心や遊びの展開に応じて地域の施設や環境と関わりつなげる経験ができるといいなと思います。

<情報発信について>

- 保護者会でパワーポイントを使った園長先生のお話は普段の生活の様子が写真からも伺え有意義。
- 園での様子などを Twitter や学級だよりなどで知ることが出来、大変嬉しく思っている。(同1件)
- もっとおたよりやホームページ(例えばパスワード付きの非公開ページや Twitter の制限付きアカウント)で普段の様子を写真を通じて知れるといい。
- ➡学級だよりに遊びや生活の写真を掲載し、子どもたちの育ちの場面を保護者の方と共有させていただけるようにしたいと思います。教員の働き方改革につなげるため、遊びや生活の様子の発信は Twitter に一本化しています。(ホームページのように自分からアクセスしなくても情報が流れてくるメリットをいかし、広く公立幼稚園の取組を知っていただくためです。)制限付きアカウントであっても、お子さんの写真データが無加工で SNS に掲載されることに様々なお考えをもつ保護者の方がいらっしゃいます。また、教員にとっては、写真を撮ることよりも保育が最優先で、目の前の子どもたちに援助をしていくことを大切にしています。様々な状況をご理解いただければ幸いです。

<行事について>

- コロナ禍で制限の多い中、感染症対策をしっかりと講じ、様々な活動・行事を取り入れ開催して頂き有難い。安心して参加できる。(同2件)
- 特色ある活動(わくわくデー、タグラグビー等)は子どもにとって特別感があるようで毎回楽しみにしている。
- お茶会などいろいろな体験をさせてもらって楽しかったと言って笑顔で話をしてくれる。いつもいい体験ができていんだろうなと思ひ子どもの話を聞いている。(同1件)
- 季節感あるイベントがたくさんあり、子どもたちにもとても良い。
- 運動会やにじっこ劇場などの行事では直接子どもの成長を見られる機会を頂き、ありがたい。友達や先生と一緒に活動する様子から非常に充実した園生活が送れているのだなと感じている。(同1件)
- 行事や小中学生との交流、地域密着型の体験等、色々な学びがあり成長に必要な要素を沢山取り入れている。
- 普段の遊びの中で学ぶ事の大切さもありますが、イベント、課外活動など、家庭ではできないような特別な体験を、充実させてほしかった。(→前述、小項目20をご覧ください。)

<PTA 活動について>

- 保護者も皆取り組みに協力的だと思う。
- 人数がかなり少ないのもっと縮小するとよい。ガーデニング係のお花の水やりも園児が交代で行うと保護者の負担も減らせるし子どもたちの経験にもなると思う。
- ➔(前述、小項目4を併せてご覧ください。)水遣りのご協力、いつもありがとうございます。子どもたちは園庭やぽかぽか広場、職員室前の畑で栽培している野菜や植物の世話をしていますので、にじっこガーデンや外周りの鉢植えについては、花や緑を楽しむ保護者のスペースとして活用し、保護者の方にも心豊かな時間を過ごしていただけたらうれしいです。水遣りは負担なく、ご協力いただける範囲で結構です。今年度のガーデニング係のみなさんは、にじっこまつりに花手水を作ってくださいたり、ラベンダーやローズマリーのブーケ、季節の飾りを作ってくださいたりするなど、主体的に活動してくださいました。ありがとうございました。活動は、前年度の取組を踏襲しなければならないということはありません。年度毎に係になってくださった方ができること、やってみたいことを話し合いながら進めていただければと思います。

<預かり保育について>

- とても楽しんで参加させていただいており、サポート保育で学ぶ事も多い様子、感謝している。
- サポート保育を利用すると、お迎えの時に連絡事項が伝わっていないことが多々ある。持ち物や予定(予定表にないてくてくデーなど)は玄関前のホワイトボードに書かかドモンで配信して欲しい。
- ➔ご不便ご迷惑をお掛けし、申し訳ありませんでした。行事や持ち物などについては、ホワイトボードで掲示を行い、連絡が漏れないように改善します。
- お迎えは16時半だけでなく15時などもあると有難い。(仕事で通常の降園時刻にはお迎えが間に合わないが、16時半だと習い事を休むことになる。)
- ➔安全管理上の理由で、降園時間は港区教育委員会で定められており、特別な理由がない限り、16時半の降園にご協力いただいています。ご理解ください。

<その他 要望等>

- 家庭での子育てに関しても、園で行っている主体性を大切にするという教育に、取り組んでいきたい。
- 未就園児の会は回数がかなり少ないと感じる。(コロナ前から)別の地での経験ですが、入園前から幼稚園の施設や先生方、保護者同士に慣れる体験をしておく親子共に入園時の不安が減らせるという実感があるためもう少し増やせたらいいのではないかと思います。お台場は土地的にあまり選択肢がないかもしれないが、プレ幼稚園何件か通わせて幼稚園を選ぶというのも少なくないと思う。預かり保育の仕組みや弁当必須などの点から、かなり時間に融通の効く保護者が1人以上いないと通わせるのは難しいのと思うが、区立ならではの理想の高さは素晴らしいと感じている。特に預かり保育がもう少し充実すると、共働き核家族の幼児も行きやすくなるのではと思う。
- ➔(前述、小項目7をご覧ください。)サポート保育については、区の方針により令和5年度より実施時間が17時まで延長される予定です。

【学校運営協議会】

○今後も、小学校・中学校との計画的な交流を継続してください。

○いつも子どものためにありがとうございます。

●サポート保育の時間が延長されると伺いましたが、職員の方の負担にならない様に配慮して下さい。

➡ありがとうございます。体制や方法等、考えて参ります。

●他の区立幼稚園が行なっている園服などのお譲り会があると良いと思いました。PTA 役員数も減り運用が難しくなので大変だとは思いますが、園で卒園児から不要になったリュックや帽子を回収して、転入してくる希望者にお譲りするのはどうでしょうか。Twitter で、途中転入園児募集をする時に卒園児からの寄付の帽子などがあると配信したら、数ヶ月間の登園ために、買い揃えなくて済むので区立幼稚園に決めようと思うかもしれません。

➡お譲り会等、大きくアピールはしていませんが、修了児保護者の中には、用品を幼稚園に寄付して下さる方がいます。途中入園の方には在庫があれば、希望によりお貸ししていますので、途中入園の募集ポスターなどにその旨を掲載していきたいと思えます。

○[幼稚園運営]園だよりを通じて、園運営の方針が分かりやすく周知されていると思えます。

[教育内容・指導]先生方が園児を丁寧に見て日々の教育を行っています。通園する園児の様子を見ても、毎日楽しそうです。園内研究が充実しており、小中学校の先生方にも、研究の進め方を学んでいただきたいです。研究の過程や成果は、園だより等で発信され、子どもがどう育つかについて分かりやすく説明されており、保護者の育児不安の軽減につながっているのではないかと推察します。

●[その他 小項目20・21について]充実した園内研究を行っている点で、公立幼稚園の役割を十分に果たしていると判断します。小中学校との連携については、特に幼小接続の部分で、幼稚園側から学校への働きかけがもっとあっていいように感じます。また、併設園としての特徴を生かした、園と学校が共同して取り組む研究に取り組んでみてもよいのではと考えます。保育園、児童館を巻き込んだ連携については、学校運営協議会として充実の方向を検討し実現する必要があると考えます。

➡幼小接続に関しては、お台場アカデミー(お台場学園港陽小・中学校と幼稚園、地域の保育園の教職員で構成された研究会)や保幼小合同研修会を機会に、交流活動の在り方や、指導の接続について共に学んでいます。今年度の保幼小合同研修会では、5歳児3学期の保育と幼児の姿を、来年度は1年生4月当初の授業と児童の姿を観察し、指導の接続について協議をします。校種や立場を超えて協働し、子どもたちの育ちを支えていく意識をもち取り組んで参ります。

【教職員(会計年度任用職員含む)】

○担任の先生方の、子どもたちへの言葉かけや、子どもの主体性を大切にされた保育を拝見して、日々学ばせて頂いております。

○今後も子どもたちの園生活の充実のため日々努力していきたいと思えます。

●特に教育内容・指導について、全くやっていないわけではないので C ではなく B をつけたところが多々あります。しかし B「ややあてはまる」の中の質を私たちは問わなければならないと思えます。気付き、考え、行動する主体的な幼児を育てるための教師の構えや援助について、もっと学びを深めていかなければならないと実感しています。(➡前述、小項目8・9をご覧ください。)